（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	2024年 5月27日（月曜日）　14時　13分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　名		負傷　1 名		職種　重機運転手		年令　53 才		経験年数 12年0ヶ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ		感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　名］

ローラー車で仮設道路造成中,ローラー車ごと横転し体をはさまれ受傷

［作業内容］

仮設道路造成の盛土箇所においてローラー車での転圧作業

［発生状況］

被災者は仮設道路造成の盛土個所においてローラー車で転圧作業中に、盛土法肩（高さ1.0m程度）からローラー車ごと横転し体をはさまれて受傷した。

［被災程度］

骨盤輪骨折（全治2ヶ月　リハビリ含む）

［服装・装備］

作業服上下，安全帽，安全靴，作業手袋，反射ベスト

原因及び対策

［発生原因］

①被災者は法肩からの離隔がわかる明示が無く，目測に頼るしかなかった。

②ローラー車の動きを注視する者がいなかった。

③施工班は路肩の確認が不十分だった。

［再発防止対策］

①作業前に作業班長と作業員が作業場所の路肩形状・作業範囲をよく確認し，危険個所（路肩）を明示してローラー車と法肩の離隔を確保する。

②作業個所にローラー車の監視者を配置し，ローラー車の危険な操作を防止する。

③ローラー車等建設機械を後退させる時,運転者は後方を目視確認し路肩を把握すると共に，転倒する危険性のある個所に入る恐れがある場合は，誘導者を配置し法肩への接近を防止する。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

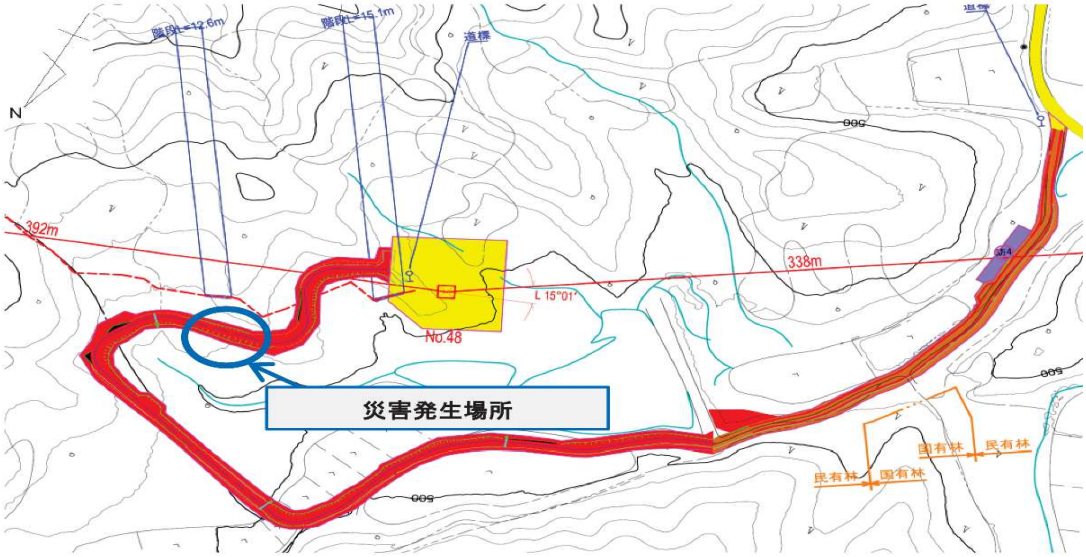
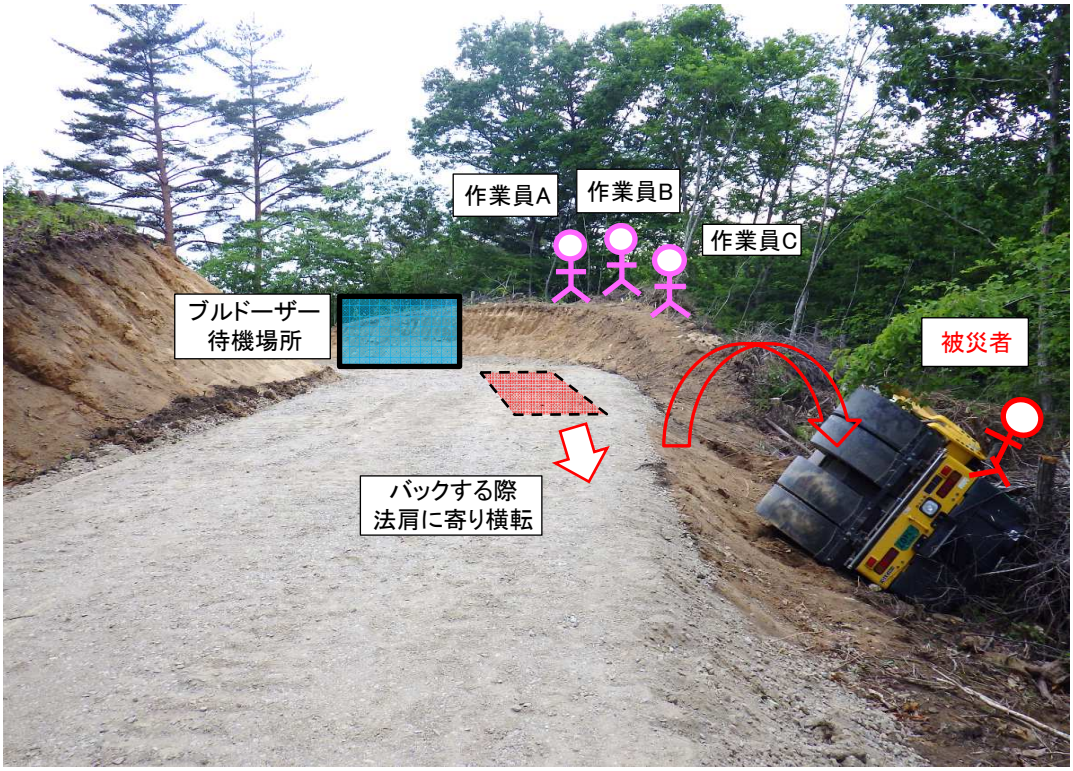
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

位　置　図



現場状況